

(2) 平成19年度 礎ヶ関中学校 教育全体構想図

日本国憲法 教育基本法  
学校教育法 県教育施策  
中南教育事務所教育施策  
平川市教育施策

**学校経営方針**

- 青森県教育委員会・中南教育事務所・平川市教育委員会の重点を踏まえて教育目標の達成のために、教師としての教育愛、使命感、研鑽に努めた教育実践を邁進する。
- 「読み」「書き」「計算」等の基礎・基本の定着を図り、全職員の協働体制の下、確かな学力の向上に努める。
- 「知」「徳」「体」の調和のとれた生徒の育成のためにP-D-C-I-Aのマネジメントサイクルを取り入れ、創意と工夫を凝らした潤いと活気のある学校経営に努める。
- 21世紀を担う生徒の健全な育成のために「健康教育」を基盤とした思いやる心と逞し体づくりの推進に努める。

**目指す教師像(オーケストラの指揮者)**

5Pの役割

- Play and study with pupil (師弟同行)
- Parent (厳しさと優しさを兼ね備えた親代わり)
- Player (豊かな表情を演じ分けられる役者)
- Professional (授業で勝負をかける厳しい専門職)
- Psychiatrist (生徒の心の痛みがわかる心療医)

**教育課題**

①自主的に問題解決に取り組む態度の育成  
②自己や他者を深く理解し、向上しようとする態度の育成  
③自らを生き生きと表現し、互いに励まし合い、高め合う態度の育成

**教育目標**

『 出会う 深める 表す 』

**努力目標**

・積極的に挑戦し、新しい世界・自分との出会いを求める生徒  
・努力を惜しまず、自己や他者を深く理解する生徒  
・自らを豊かに表現し、互いに共感し合える思いやりのある生徒

指導目標と方針						
教科	道徳	特別活動	生徒指導	進路指導	保健安全指導	
確かな学力を支える一つとして重要な「思考力」を高めるために、どのような指導が効果的と言えるのか、「思考力」を育成する授業のあり方や指導過程の工夫などについて実践を通して明らかにする。	豊かな心を基盤とし、他者との共生や思いやりの気持ちを持って、自立して生きていこうとする心情や態度を育成する。	生徒ひとりひとりの自己実現のために望ましい集団生活を通して、社会の一員としての自覚と責任感を深めさせ、個性の伸長と豊かな人間性を育成する。	一人一人の子どもが、豊かな生活を送ることができるよう、家庭や地域との連携を図りながら、心の結びつきを基調とした指導を行うとともに、問題行動等の未然防止、早期発見・早期対応に努める。	一人ひとりの子どもが、自らの生き方を考え、主体的に進路選択できるよう、計画的、組織的、継続的な指導に努める。	自他の生命を大切にし、健康で安全な生活を送るため、自主的に努力できる生徒を育成する。	<b>健康教育</b> 「教育は人づくり」という観点に立ち、夢はぐくむ教育の実現のために、「学」「心」「体」の充実に努め、豊かな心を持った逞しい関中生の育成に努める。
①ねらい(学習課題)の明確化 ②生徒の思考力を養うための指導過程の見直し ③小集団などを取り入れた「思考力」を伸ばさせるための手だての工夫	①生徒の実態に応じて、全教職員の協働体制のもと共通理解を深めるとともに計画的な指導を進め、他者との共生や思いやりの気持ちを育てる。 ②各教科や特別活動、総合的な学習の時間、その他の活動場面との相互関係を図りながら、道徳的判断力・心情態度などを養う。 ③家庭・地域との連携を図りながら地域の人材を道徳教育に生かすとともに、体験的な活動を通して豊かな道徳性の育成に努める。	①学級活動では、本音で語り合い、互いの意見を尊重する雰囲気大切にし、多様な集団活動の工夫を通して人間関係の構築を図る。 ②生徒会活動では、日々の活動の活性化と見通しのある企画・運営力を持てるように活動を中心に、生徒の思考を大切にしながらみんな(生徒・教職員)による「学校づくり」という意識の向上を図る。 ③行事などで経験した若しさや達成感をより深化させる振り返りの時間を確保し、全校生徒が共有できる場を設けながら、「自分らしさ」や「自分の生き方」を考える態度を養う。	①一人一人の生徒が充実感や満足感を持てるように指導の工夫に努める。 ②基本的な生活習慣や自己指導能力の育成に努める。 ③共感的な生徒理解・支援に努める。	①教育活動全体を通して、全教師一丸となって進路指導にあたる。 ②適切な職業観、勤労観を持たせる指導に努める。 ③生徒一人ひとりの進路選択を支援する。 ④組織的、計画的、系統的な指導の確立に努める。	①生徒の健康状態を把握し、健康管理に努めるとともに、全職員共通理解のもと、一人一人に応じた指導を行う。 ②生徒の実態や発達段階に合わせて、各教科・領域と連携しながら、健康教育、安全教育の推進を図る。 ③安全で清潔な校内環境づくりに努める。	<b>図書教育</b> 一人ひとりの子どもが、情報活用能力を身につけることができるよう、系統的・体系的な情報教育の推進に努める。
<b>総合的な学習の時間</b>						
【指導目標】 学び方やコミュニケーション力を身につけ、主体的に考え、判断し、よりよい自己を表現するために問題や課題を解決しようとする態度を育てる。			【方針】 ①課題解決的な学習を行うために、解決するための手立てや見通しを学年の発達段階に応じて系統的、発展的に工夫し、積極的に取り組もうとする態度を養う。 ②さまざまな社会やそこで生活している人々に会い、交流することで、新しい自分と出会う機会を作り、より深く自分の生き方を考えさせる。 ③表現力を高めるために、コミュニケーション能力の向上のための学習の場を設定する。			

**生徒の実態**

- 生活集団が小学校から変わらないため、人間関係が固定化されている。
- 学年を問わず仲がよい。
- 切磋琢磨する意識が薄い。
- 与えられたことや経験のあることには熱心に取り組む。
- チャレンジ精神が希薄である。

**地域の実態**

- 地区毎の連帯感が強い。
- 教育には関心が高く、学校への協力体制も整いつつある。
- 学校行事等への参加率が高い。
- 学校に対する期待が大きい分、学校批判が出る場合もある。

評価と指導法改善

学年・学級経営			
1 学年	2 学年	3 学年	すぎ心学級
<ul style="list-style-type: none"> <li>心身共に健康で安全な学校生活を心がけさせる。</li> <li>挨拶や礼儀を重んじ、さわやかな中学校生活を送ることができるよう支援する。</li> <li>何事にも進んで取り組み、ベストを尽くす姿勢を持たせる。</li> <li>仲間の意見を尊重するとともに本音で語り合い、相手の気持ちを考慮して行動させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>心からこのクラスでよかったと思えるような学級作りに努める。</li> <li>進学指導にとどまらない進路指導を心がける。</li> <li>学校生活の基盤作りをしっかりとさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒と教師の信頼関係を構築し、生徒がこれから起こり得る様々な問題に真剣に取り組めるとともに、成功や失敗などを通して自立し、自分たちの力で学級・学校全体の諸問題を解決していけるような支援をしていきたい。</li> <li>学習や体験によって学んだことを各行事でいかせるとともに、受験を常に意識した生活を送れるよう、積極的に支え、励まし、待っていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>通常の学級との交流を通して好ましい人間関係を育て、社会への適応性を身につけさせる。</li> <li>職業学習を通して、生活に必要な知識、技能、態度を身につけさせる。</li> <li>能力に応じた指導を基盤として、個性や特技の伸長を図り、進路指導の充実に努める。</li> </ul>

**保健室経営**

- 健康ニーズへの対応
  - 気軽に入室できる雰囲気をつくり、個々の主訴・症状に合わせた救急処置や健康相談を行う。
  - 情報交換を密にし、共通理解を持って全職員で対応できる体制をつくる。
- 保健センターとしての活動
  - 図書や掲示物、ほけんだより等で健康に関する情報を提供する。
  - 保健情報の管理を行う。

**目指す生徒像**

- 積極的に挑戦し、新しい世界・自分との出会いを求める生徒
- 努力を惜しまず、自己や他者を深く理解する生徒
- 自らを豊かに表現し、互いに共感し合える思いやりのある生徒